

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果

嘉麻市教育委員会 学校教育課

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査対象の学年

小・義務教育学校第6学年、中学校第3学年及び義務教育学校9学年

## 3 調査の内容

① 教科に関する調査：小学校は国語及び算数、中学校は国語及び数学、英語

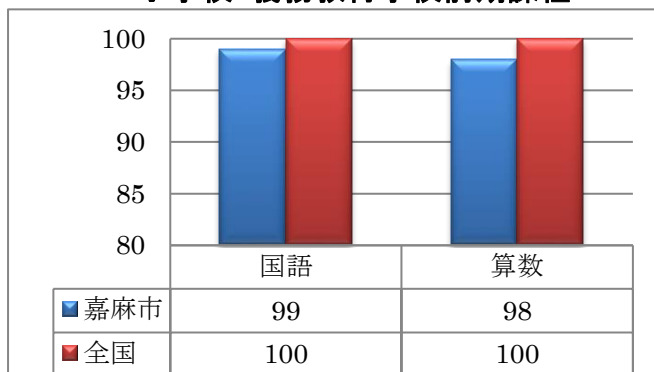
② 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

[児童生徒に対する調査、学校に対する調査]

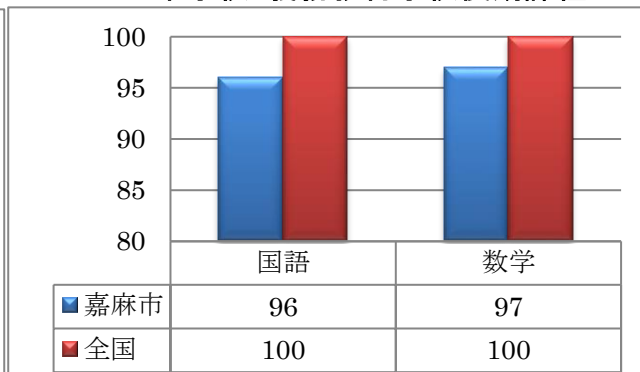
※ 英語については、毎年調査を行っていないために、結果は記載していません。

めざせ！全国平均正答数超え！！

### 小学校・義務教育学校前期課程



### 中学校・義務教育学校後期課程



上のグラフに表示している数値は、全国の平均正答数を100とした場合の標準化得点です。国語、算数・数学において、小学校では、(-2)～(-1)の差となり、中学校では、(-4)～(-3)の差となりました。

### 【成果】

- 標準化得点は昨年度よりも小学校・義務教育学校前期課程（以下、小学校という。）では国語・算数ともに上昇しました。また、中学校・義務教育学校後期課程（以下、中学校という。）では数学が昨年度よりも上昇することができました。
- 小学校では、国語・算数ともに令和3年度以降上昇しています。

### 【課題】

- 小・中学校とも基礎基本の定着が課題です。また、小・中学校とも、問題文から何を答えるかを読みとり、条件に沿って最善解を導き出す思考力や表現力の育成に課題が見られます。
- 小・中学校とも全国と比較して学力層C・D層の割合が高い状況にあります。C・D層の児童生徒への個別の学習支援の在り方について工夫・改善を図る必要があります。

### 【改善策】

- 基礎基本の定着を図るために、AIドリルを使って繰り返し学習を行うなど、知識・技能の定着と剥落の防止及び授業改善を図ります。また、思考を伴う書く活動の徹底指導により、思考力・表現力の育成を図ります。
- 個に応じた指導を徹底します。各学力層に着目した習熟度別指導や個に応じた課題づくり・学習支援に取り組みます。また、家庭学習の習慣化のために一人一台端末の持ち帰りを推進します。